

2025年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年9月10日

上場会社名 株式会社pluszero 上場取引所 東
 コード番号 5132 URL <https://plus-zero.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長兼CEO（氏名） 小代 義行
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 浅川 耀佑（TEL） 03-6407-0212
 （代表）

配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト、個人投資家向け）
 （百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期第3四半期の業績（2024年11月1日～2025年7月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第3四半期	1,163	30.1	393	78.2	393	78.3	251	161.8
2024年10月期第3四半期	894	38.7	220	81.3	221	81.6	95	17.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年10月期第3四半期	32.41		30.88					
2024年10月期第3四半期	12.56		11.72					

（注）当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期第3四半期	1,680	1,398	83.3
2024年10月期	1,413	1,127	79.8

（参考）自己資本 2025年10月期第3四半期 1,398百万円 2024年10月期 1,127百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年10月期	—	0.00	—	—	—
2025年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	35.4	550	119.4	550	119.0	382	148.7	49.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年10月期3Q	7,768,776株	2024年10月期	7,669,020株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2025年10月期3Q	303株	2024年10月期	303株
-------------	------	-----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年10月期3Q	7,750,740株	2024年10月期3Q	7,635,983株
-------------	------------	-------------	------------

発行済株式数に関する注記

当社は、2024年5月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式総数、自己株式数、期中平均株式数を算出しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社はAIを中心としてIT・ハードウェア等の各種テクノロジーを統合的に活用したソリューションを提供する「ソリューション提供事業」を展開しております。当社の「ソリューション提供事業」は、提供形態に基づいて、「プロジェクト型」と「サービス型」に分類しております。

大分類	契約形態	ビジネス概要	
プロジェクト型	請負契約 準委任契約	顧客の経営問題の解決や課題の達成のための相談と具体的なサービス・システム的设计・開発・保守運用までをワンストップで提供	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の要求仕様を満たすサービス・システムをプロジェクト単位に契約して契約の期間内に納品 顧客の経営問題に対して中長期的に向き合いながらエンジニアやコンサルタントの稼働やノウハウを安定的に提供 「サービス型」に付随して発生する開発の実施及び関連事業・サービスの立上支援
サービス型	ライセンス 供与契約	「仮想人材派遣」関連技術に関する技術情報の提供や開発ライセンス・利用ライセンスの供与	

「ソリューション提供事業」は、その高い粗利益率に基づいて、当社の独自コンセプトであり、特定ジャンルに限定することによって、機械が人間のように意味を理解できるようになることを目指す技術であるArtificial Elastic Intelligence(AEI)に関する研究や、AEIを活用し、高い収益性を持つ「サービス型」への継続投資を行っております。当社は「人の可能性を広げる」というビジョンの下、人間1人あたりの生産性向上のサポートとしてAEIを用いた「仮想人材派遣」の開発・運用をしております。その実用化の1つとして、当中間会計期間より、“コールセンター向け高信頼性AIエージェント”「mirai0」の販売を開始いたしました。今後も「仮想人材派遣」をより浸透させるべく、コールセンター型のAEI(AIオペレーター)・AIと人間の協働プラットフォーム(AEI Desk)・生成AIを用いた製造業の設計の効率化の主要3分野を軸に導入を推進いたします。

当第3四半期累計期間(2024年11月1日から2025年7月31日まで)における当社を取り巻く経営環境につきましては、当社の所属する業界においては、AI等の需要は益々高まっており、製造業顧客及び情報通信業顧客向けのソリューションの提供を中心にプロジェクト型の契約単価等が堅調に増加した結果、売上は順調に推移いたしました。また、業務提携先に対する「仮想人材派遣」に関連する技術情報の提供やライセンスの供与、関連事業・サービスの立上支援、API化したAEI基礎技術の提供等のサービス型の役務提供を実施しており、研究開発の商用化を順次図っております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,163,184千円(前年同期比+30.1%)、営業利益は393,444千円(前年同期比+78.2%)、経常利益は393,996千円(前年同期比+78.3%)、四半期純利益は251,182千円(前年同期比+161.8%)となりました。なお、当社の事業セグメントはソリューション提供事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

i. 流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,414,801千円となり、前事業年度末に比べ243,791千円増加いたしました。これは主に、売上の増加に伴い、売掛金及び契約資産が34,279千円増加、現金預金が220,677千円増加したことによるものであります。

ii. 固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産は265,398千円となり、前事業年度末に比べ23,399千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定63,234千円の増加があったことによるものであります。ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定に関しては、当社の研究開発活動である仮想人材派遣の一部について将来の収益獲得が確実になったことに伴い、その中核技術であるN4及びPSFの一部につき、資産計上を行っております。

上記の結果、総資産は1,680,199千円となり、前事業年度末に比べ267,190千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は281,356千円となり、前事業年度末に比べ3,681千円減少いたしました。

主な要因は、賞与の支給に伴う未払費用の減少88,241千円、未払金19,212千円の減少等によるものであります。一方で、事業拡大に伴い未払法人税等が44,669千円、賞与引当金39,080千円それぞれ増加しております。なお、前事業年度末において未払費用に含めて表示していた未払の賞与については、支給タイミングに基づき、当第3四半期会計期間末においては賞与引当金として表示しております。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,398,843千円となり、前事業年度末に比べ270,872千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ9,845千円増加したこと、四半期純利益の計上により利益剰余金が251,182千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月期の業績予想につきましては、「サマリー情報 3. 2025年10月期の業績予想」に記載のとおりでございます。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	901,194	1,121,872
売掛金及び契約資産(純額)	249,973	284,252
前払費用	19,063	7,952
その他	778	723
流動資産合計	1,171,010	1,414,801
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,341	5,942
工具、器具及び備品(純額)	650	406
有形固定資産合計	6,991	6,349
無形固定資産		
ソフトウェア	135,583	102,767
ソフトウェア仮勘定	14,045	110,096
無形固定資産合計	149,629	212,863
投資その他の資産		
投資有価証券	3,152	3,152
繰延税金資産	72,448	33,406
その他	9,776	9,626
投資その他の資産合計	85,377	46,185
固定資産合計	241,998	265,398
資産合計	1,413,009	1,680,199

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	34,097	14,884
未払費用	153,496	65,255
預り金	13,536	18,716
未払法人税等	43,524	88,194
未払消費税等	39,929	45,061
賞与引当金	-	39,080
受注損失引当金	390	-
その他	63	10,164
流動負債合計	285,038	281,356
負債合計	285,038	281,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,680	35,526
資本剰余金		
資本準備金	114,780	124,626
その他資本剰余金	670,565	670,565
資本剰余金合計	785,346	795,191
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	317,037	568,219
利益剰余金合計	317,037	568,219
自己株式	△93	△93
株主資本合計	1,127,970	1,398,843
純資産合計	1,127,970	1,398,843
負債純資産合計	1,413,009	1,680,199

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年11月1日 至2024年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年11月1日 至2025年7月31日)
売上高	894,170	1,163,184
売上原価	363,500	488,888
売上総利益	530,670	674,295
販売費及び一般管理費	309,939	280,851
営業利益	220,731	393,444
営業外収益		
受取利息	2	357
受取配当金	198	-
雑収入	100	194
営業外収益合計	302	552
経常利益	221,033	393,996
特別損失		
投資有価証券評価損	48,647	-
特別損失合計	48,647	-
税引前四半期純利益	172,385	393,996
法人税、住民税及び事業税	64,653	103,772
法人税等調整額	11,797	39,041
法人税等合計	76,450	142,814
四半期純利益	95,935	251,182

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自2023年11月1日 至 2024年7月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自2024年11月1日 至 2025年7月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

当社は、ソリューション提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

当社は、ソリューション提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	24,746千円	48,456千円